

## 『ATCチャート』を利用しての 構内操縦者に対する労務管理反対！

修繕車両所の修繕班は、作業が発生する都度『誰がどの箇所を受け持つか』等の打ち合わせを行い、作業に着手していましたが、それが今では、事前に管理者にも知らせることに変更となりました。これが『作業前打ち合わせ』と言われているものです。

そこでの管理者からの指摘は、「この人には、まだ後検査をさせないでくれ！」や「あの人に作業未経験者を付けないでくれ！」と指示を出してきます。主任であろうが技術係であろうがおかまいなし！では、管理者は何を基準に判断しているのでしょうか？

もしかして『主任レポート』の報告が管理者の判断材料に利用されているかも・・・ネ！？

修繕班がこれですから、同じ修繕車両所に属する『構内操縦』においても締め付けは厳しいものです。ちょっと前までは『月一回程度の操縦助役の添乗』でしたが、今では夜であろうと暇さえあれば、頻繁に管理者が添乗してきます。『操縦標準化が基本通り出来ているか！？』を監視し、『喚呼がはっきり言えているか！指差がしっかりと対象物を指しているか！』などをチェックしている様です。

それ以上に、さらに驚く事態も明らかとなりました！それは、構内操縦者数人が管理者に呼び出されました。そこでは、『構内入換えの速度』に関しての注意がされました。

何と『庫から12km/hで出ているぞ！』『お前は11km/hだ！』『庫入れは9～10km/hでは速い！8～9km/hで走れ！』等との指摘でした。

おまけに「これからはATCチャートを見て、構内速度を調べるから『見ているぞ！』と脅しをかけてきたのです。

本来 ATC チャートは、車両故障時の時間や場所や速度を調べ、分

析・解析するものです。それが労務管理に使われるとは……。

構内操縦者は、常に監視の目が向けられている状態であります。私たちは、この様な『ATCチャート』を利用しての労務管理には反対です！

## **年休が流れる！ その年休は、何処へ？！** **各パートに適正要員を直ちに配置せよ！**

年度末も押し迫ってきました。各車両所では年休消化が出来ない社員が多数いるのが現状です。保存休暇に移行できるならまだ『ヨシ』としても、保存休暇も一杯で『流れるしかない人』は困り果てています。現状のままでは2月と3月の年休簿には、蟻の隙間もないほどに人の名前で埋め尽くされることでしょうか！？

各パートに要員補充が出来ないのであれば、会社が責任を持って年休の買上げをするしか方法はありません。

しかし会社は、リニア建設に向けての資金捻出に苦勞している模様であり、減収を理由に開業を2年遅らせたことでもわかりますが、社員に渡たすお金があるくらいなら『リニアにまわせ！』なのでしょうね！

それでは困ります！ 年休消化が出来るよう、各パートに適正要員を直ちに配置する事を要求します！

## **不満や理不尽な事があったら、共に声を 上げ訴えていきましょう！**

## **私たちは、働きやすい職場と健全な会 社とするために闘います！**